

平成30年度 第1回学校運営協議会 記録

実施日 平成30年7月21日(土) 14時30分～16時30分

参加委員 山口 裕稔 委員(槻の木高等学校 PTA 会長)
田中 隆夫 委員(観世流能楽師シテ方)
山本 冬彦 委員(関西大学文学部 教授)
山口 善章 委員(高槻市立第一中学校 校長)

事務局員 河嶋 憲治 (槻の木高等学校 事務長)
山本 尚 (槻の木高等学校 首席・学校運営室長)
田中 眞 (槻の木高等学校 首席・1年学年主任)
常盤井 志伸 (槻の木高等学校 教諭・学習指導室長)
小西 久美子 (槻の木高等学校 教諭・学年室長)

<開会>

<委員紹介>及び<事務局員紹介>

<学校長あいさつ>

大西校長

本日は、皆様、お忙しい中、ありがとうございます。

6月18日の大きな地震、7月の豪雨がありまして、生徒達の安全安心に関しまして、改めて私達が預かっている命の重み、大切さを考えさせられました。それに引き続き記録的な猛暑となっております。体育の授業やクラブ活動において、事故が無いように健康管理、注意喚起等の体制を整え、教職員一同頑張ってお対応しているところです。

すでにご存知かとは思いますが、学校協議会が学校運営協議会と名称を変えました。これまでと大きく違いますのは、これまで学校協議会の中で校長に対して、学校経営計画についてご意見をいただいていたのですが、次年度の学校経営計画については、大きな方針についてご承認をいただかなくてはならない点です。また、職員の任用について意見を述べる事が出来るということです。

それに伴いましてたくさんの資料で申し訳ありませんが、学校運営協議会の実施要項や大阪府の人事方針について事前にお配りしております。

今年度の学校経営計画についてはすでに決まっているので、次年度の学校経営計画はおそらく第3回の学校運営協議会で承認をいただくこととなります。職員の任用については基本的な方針の範囲内でご意見をいただきたいと思いますので、忌憚のないご意見をお願いいたします。

私は、4月から本校に着任しましたが、これまでの4代の校長先生の思いや教職員が積み上げてきたもの、また、生徒たちが引き継いでくれている伝統と槻の木の素晴らしい教育を、さらにもどのように伸ばしていけるか、課題を解決して行けばいいのかを先生方とともに一生懸命全力で尽くしてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

<会長選出>

本校PTA会長 山口 裕稔 委員を選出

<副会長選出>

高槻市立第一中学校 校長 山口 善章 委員を選出

<報告1>平成29年度学校経営計画および平成30年度学校経営計画について

大西校長

- ・29年度については、学校協議会からの意見を、表面の下右側に第1回から第3回まで表記すると共に、左側には、29年12月実施の学校教育自己診断結果も併せて記載した。
- ・裏面には29年度の取り組みについて、自己評価で◎が充分達成、○が達成、△が数値的に届いていないものとして表記した。
- ・今年度の学校経営計画は、昨年度中に竹下前校長が策定したものを、着任後に網掛け部分を変更した。
- ・大きい項目は変えていない。「学力の向上」・「人格の陶冶」・「先進的で他をリードする学校づくり」、「保護者地域から信頼される学校づくり」という柱は変えず、細かい文言や目標値を他と比較しやすい形に変更した
- ・中期的目標として、次期学習指導要領と高大接続改革への対応が中心。
- ・85%ほどの生徒がセンター試験を受験している本校としては、選択解答ではなく記述解答に対応できる授業やカリキュラムを作ることが必要。1年生のカリキュラムはすでに対応しているので、更に進めていきたい。
- ・新学習指導要領については、文科省が実施する説明会に出席し、情報収集の予定。
また、8月には総則及び各教科での説明会があるので、校内での伝達研修を実施し、新たなカリキュラムを編成していく。
- ・授業改善やカリキュラムの改訂に取り組みながら、本校の地道な活動も推進する。『1日平均学習時間を2020年には、2年生10月の時点で100分を維持する』とあるが、去年の2年生が94分なので100分をめざして欲しいと考える。これだけしっかりと勉強している生徒は、大阪府全体でも少ないと思う。地道な学習活動をしっかりさせて受験に向かわせる、という仕組みを学校全体で、組織的にやっていくことを継続させたい。
- ・前校長が築いた「槻の木 NEXT STAGE」は引き続き取り組んでいく。
今年度もオーストラリア研修、京大のiPS研究所、京大の物理研究室への訪問を予定。東京の証券取引所の見学、東京外国語大学の留学生との交流も予定。
- ・先日、オーストラリアのアリススプリングスのペンパル交流生が来校した。本校生15名との交流だったが、本当に良い取り組みだと感じた。多様な人々との積極的な交流を通して、学びの意欲を向上させると共に、社会性や協働することを学んでほしい。
- ・生徒指導においては、カウンセリングマインドを持った指導をお願いしている。
- ・先生方には研修等に出来る限り行ってもらい、そこで培ったものを伝達研修してもらうため、府の実施している研修への参加率を上げていきたい。
- ・先進校視察も校長マネジメント経費から、予算を捻出して実施したい。
- ・同時に、教員の校務を公平化し、協働体制を作っていかなければならない。
- ・引き続き保護者・地域から信頼される学校づくりに努める。広報活動・情報発信についても、これまで以上に取り組みたい。
- ・中期的な目標ということで2020年に焦点をあて3年間でやりたいことを示した。

- これまでも、きめ細やかな学習指導や進路指導を行っているが、これを継続していく。昨年度までの「更に向上する」という文言は「維持する」という意味で使われていたと伺っているので変更した。
- 働き方改革の一環として、学校経営計画の本年度の取り組みの中に「学校運営の効率化」を入れた。また、一斉退庁日とノークラブデーを引き続き実施していくとともに、夏休み中の3日間の学校休業日を設けることとした。

<各室長説明>

学校運営室長 山本首席

- 「槻の木 TIMES」というA4のポスターを作製し各中学に掲示してもらう予定。
- Vol4では新1年生のクラス代表の写真メッセージと本校の特徴の1つである自習室の写真を載せる。特に、当校の生徒の中では、2階渡り廊下に机と椅子を置いている勉強スペースが人気があり、生徒の間で取り合いになっている。
- 広報活動に生徒を極力露出させていきたい。
- 「槻の木 NEXT STAGE」の詳細説明。

学習指導室長 常盤井教諭

- 進路状況の説明と現3年生の進路希望調査状況説明。

学年室長 小西教諭

- 各学年の状況説明。

<協議>

山本委員

先ほど、「槻の木 TIMES」というPR用のチラシに、渡り廊下に机を出して仕様している写真を掲載するという説明があったが、消防法に抵触しないのか。

山本首席

以前からずっと勉強スペースとして使用している。昨年度にPTAからそれまでの古い机と椅子から、新しいものを購入してもらい寄付を受けた。

山本委員

消防法で大丈夫であっても、一般的には廊下は避難通路としての役割もある。「槻の木高校は廊下に机と椅子をおいて自習室としている。」そのようなことが分かる写真を掲載するのは大丈夫なのか。

山本首席

掲載はやめた方がいいですね。

河嶋事務長

法上のことは、確認するが、前の防火管理者からは、消防署から、3年に一度立ち入り検査に入っているようだが、この部分の指摘をうけたということは聞いていない。

山本委員

法律がクリアしていたとしても、廊下を自習室にしているというのは、どうでしょうか。

山本委員

1日平均学習時間100分は、どういう見込みで目標値に設定したのか？

大西校長

私の知る限り充分勉強していると思う。より向上させるというより持続させたい。

山本首席

1期生から年3回のアンケートで定点観測している。100分を超えるのは凄いこと。

山本委員

生徒は計画を立てて学習をしているのか？

小西教諭

毎日の終礼時に「学習の記録」を記入させている。時間管理だけでなく悩みを記入してくることもある。

山本委員

通塾率は高いのか？

常盤井教諭

2年生は高い。塾の自習室を利用している生徒が多い。

大西校長

休日に、「1日勉強会」という取り組みを希望制で行っている。1人2つの机を使い窓に向きを変え、自習をする取り組みであるが、「こんなに大勢来るんだ」と感心した。隣の生徒も頑張っている姿が見えるということが、良い学習環境になっている。

山本委員

机が広いというのが良い。

山本首席

大学の取り組みで長机を使用していた。机を2つにただけでも生徒が喜んでいた。

山口会長

我が家もリビングの机が勉強机になってしまう。

山口委員

- 学力をつけないといけない生徒と共に、いわゆる中間層の生徒の学習環境を整えることの必要性を感じた。
- 学習の機会やきっかけを作ってやれば、もっと勉強することがわかった。

- ・「槻の木TIMES」の生徒を前面に出すという取り組みは中学の立場ではありがたい。学校の中が見える。

田中委員

- ・入学した生徒が、3年間でとても成長するというのは頼もしく感じる。
- ・学校経営計画で「高い志や倫理観と強い精神力を育て」とあるが、その中でも「人権意識の高揚」は具体的にどのような取り組みをしているのか？

大西校長

- ・いじめ対策協議会の実施、いじめアンケートの実施、安心安全アンケートを年2回実施。
- ・LHRでの指導も行っている。先日は1年の人権HRで高槻支援学校の先生をお招きし、障がい理解のための講習を実施した。

小西教諭

- ・人権問題は知らないということが一番恐ろしい。
- ・2年生ではブラックバイトについて3年生では将来のために就職差別について学習した。

田中委員

「槻の木NEXT STAGE」で私の立場で言うと、伝統芸能は「礼に始まり礼に終わる」。規範意識という意味では、希望者がいれば是非お越しになってもらいたい。

山本首席

プロの稽古場を見せていただき空気を感じるだけでも良いことである。

山口委員

碎啄サポートについて教えて欲しい。

常盤井教諭

- ・3年生の国公立希望者にエントリーを促し、担任外のアドバイザー（チューター）が付く。
- ・サポートを受けている者に対する講習などが準備されており、昨年度は60数名、今年度は30数名がエントリー。
- ・途中で辞退する生徒もいるが、最後まで続ける生徒は国公立によく合格してくる。

山本委員

進路を考えるにあたり、どのくらいの生徒が将来のことを考えて選択してくるのか？

小西教諭

- ・担任をしていた時には、将来のことを考えている生徒が多いと感じた。
- ・何でもいいから偏差値でという感じではない。

山本委員

小学校の教員を希望する生徒は、まず小学校時代の先生が良かったと答える。そういう生徒はテ

ンションが高い。

常盤井教諭

槻の木の子は将来のことを考えている生徒が多い。

山本首席

槻の木を選択している時点でしっかりと考えていると思う。

山口会長

「槻の木NEXT STAGE」で様々な選択肢が増えるのは良い。

山本首席

これしかないと考えている生徒も視野を広げて欲しい。

山口会長

保護者としては色々な職業を見せてあげて欲しい。

山本委員

教員の研修ではどのような課題があるのか？

大西校長

ミドルリーダー・分掌長を育てるのが課題。

山本委員

大阪市のキャリアステージの指標がある。

山口委員

中学はゆっくり育てる時間がない。30代の校長もいる。

大西校長

OJTは難しいがやっつけていかなければいけない。

<委員からの提言>

山本委員

特色を活かしているというのが分かった。是非ともその特色を活かして生徒を伸ばして欲しい。

山口委員

槻の木は前向きにやられている。中学に持ち帰り参考にさせてもらう。

田中委員

学校経営計画の「めざす学校像」をめざしていただきたい。

山口会長

- 保護者の立場でHPの更新率を上げて欲しい。
- 学校の中身が見やすいものを簡単なもので良いのでお願いしたい。

<閉会>